



特集

LGWANの将来～第三次LGWANの概要(2)

今回は、7月号に引き続き、現在、整備事業を進めている第三次LGWANについて、参加団体及びLGWAN-ASPサービス提供者におけるLGWANとの接続構成の変更点及び移行について、質疑応答形式を含めて説明します。

なお、第三次LGWAN整備事業については、現在進めているところであるため、これに関する説明については、今後、変更が生じる場合があります。

1 第三次LGWANにおける参加団体及びLGWAN-ASPサービス提供者の接続構成

(1) 第三次LGWANにおける参加団体の接続構成

第三次LGWAN整備計画において、参加団体がLGWANと接続するためのLGWANサービス提供設備は、現行のネットワーク機能の見直しを行い、ルータの機能及びファイアウォールの機能に限定したシンプルな設備（以下「LGWAN接続ルータ」という。）に変更されます。この仕様変更に伴い、現行LGWANサービス提供設備が参加団体組織内ネットワークに対して提供していたDNS、SMTP、

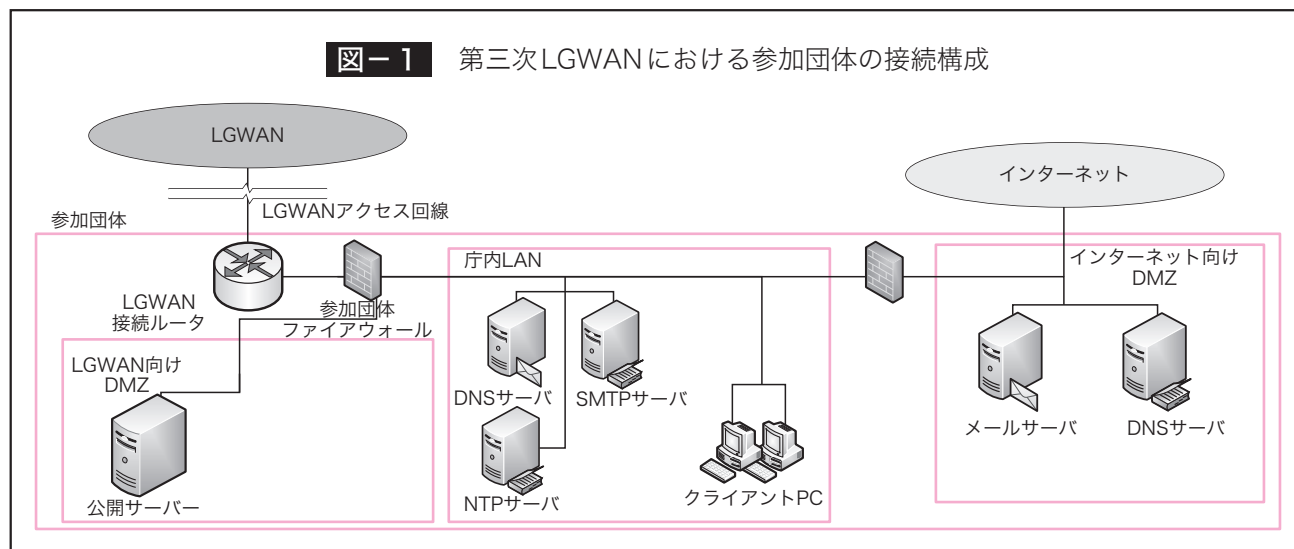
NTPの機能は、LGWANの網内に用意したシステムから同様の機能を提供することになります。

したがって、第三次LGWANにおいて、現行サービス提供設備の利用を中止し、LGWAN接続ルータへの切替えを行う際には、図-1に示す組織内ネットワークの各基本プロトコルを処理するサーバ及び参加団体ファイアウォールの設定変更が必要となります。

また、LGWAN接続ルータはネットワーク基盤サービス事業者からのレンタルを基本としております^{※1}。

これは、LGWAN接続ルータの運用と保守の管理

図-1 第三次LGWANにおける参加団体の接続構成



※1 平成23年度第1回総合行政ネットワーク運営協議会において決定

を一元化することでセキュリティを一定に保ち、安定的な運用を図ること、また、参加団体における調達や運用に係る負荷の軽減そして経費削減を図るなどのスケールメリットを期待できるため推奨しているものです。

なお、LGWAN接続ルータに移行するまでの期間、現行のLGWANサービス提供設備を継続利用することも可能としておりますが、全体最適化の関係から、平成25年度末までにすべての参加団体がLGWAN接続ルータへの切替えを目指すこととされました^{※1}。

(2) 第三次LGWANにおけるLGWAN-ASPサービス提供者の接続構成

第三次LGWAN整備計画において、第三次LGWANにおけるLGWAN-ASPサービス提供者がLGWANと接続するための設備は、現行のLGWAN-ASP接続設備に代わり、LGWAN接続ルータとされています。また、LGWAN-ASP接続設備

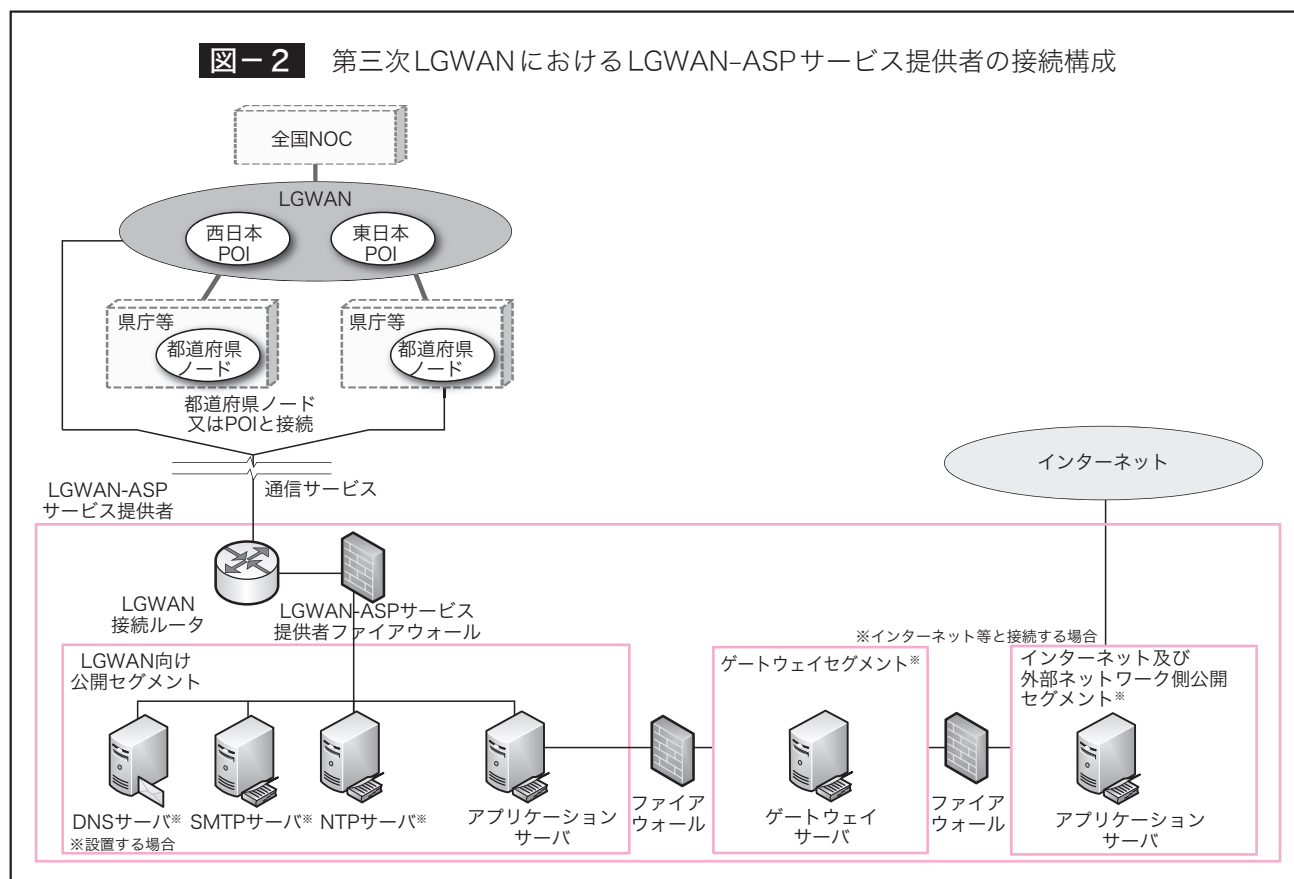
からLGWAN接続ルータへの切替えに伴い、現行LGWANにおいてLGWAN-ASP接続設備が提供していたDNS、SMTP、NTPの機能は、LGWANの網内において提供されることになります。

したがって、LGWAN接続ルータへの切替え作業を行う際に、図-2に示すLGWAN接続ルータの新設並びにLGWAN-ASPサービス提供者内の各サーバ及びファイアウォールの設定変更が必要となります。

新設するLGWAN接続ルータは、参加団体と同様にネットワーク基盤サービス事業者からのレンタルが基本となっています。LGWAN接続ルータに移行するまでの期間、現行のLGWAN-ASP接続設備を継続利用することも可能ですが、平成25年度末までに切替えを目指して推進していくとされています。

また、第三次LGWANにおけるLGWAN-ASPサービス提供者の接続先は、POI又は都道府県ノー

図-2 第三次LGWANにおけるLGWAN-ASPサービス提供者の接続構成



ドになりますが、LGWAN-ASP接続設備を継続利用するLGWAN-ASPサービス提供者の接続先については、経過措置として現行と同様に全国NOC又は都道府県ノードとしています。

ついては、全国NOC接続のLGWAN-ASPサービス提供者においては、LGWAN-ASP接続設備からLGWAN接続ルータに切り替わる際、LGWANへの接続先を全国NOCからPOIに変更することになりますので、ご注意ください。

2 第三次LGWANへの移行に係るFAQ（質疑応答集）

第三次LGWANへの移行におけるスケジュール、LGWAN接続ルータの取扱い等について、質疑応答形式で表-1にまとめています。

なお、LGWAN-ASPサービス提供者においては、表-1の「参加団体」を「LGWAN-ASPサービス提供者」と読み替えてください。

3 平成23年度に行う移行作業について

第三次LGWANへのネットワークの移行は、表-2に示す五つのフェーズに分けて実施します。

参加団体及びLGWAN-ASPサービス提供者がLGWAN接続ルータに切り替える場合、都道府県ノードの整備後に、各参加団体ごとに随時切替え作業を行うこととなります。切替えは、移行フェーズ3が完了した都道府県の管内の参加団体及びLGWAN-ASPサービス提供者から順次可能となります。また、切替えに当たっては、前述「1（1）第三次LGWANにおける参加団体の接続構成」のとおり、LGWAN接続ルータの新設並びに各サーバ及びファイアウォールの設定変更が必要となります。

なお、現行のLGWANサービス提供設備を継続利用する参加団体に対しては、運営主体が遠隔操作により設定情報の変更処理を行うなどを検討しており、その後、参加団体からの動作確認等をお願いす

表-1 第三次LGWANへの移行に係るFAQ（抜粋）

質問	回答
参加団体の移行作業はいつごろを予定しているか	平成23年10月から平成24年2月にかけて、順次移行する予定です。
平成23年度中にLGWANサービス提供設備の保守期限が到来するが、今年度LGWAN接続ルータの調達及び庁内サーバの設定変更等、第三次LGWANの移行に係る予算措置をしていない場合、どのような対応を取るべきか。	今年度中に保守期限が切れるLGWANサービス提供設備については、保守期限終了時から最大12か月は保守を延長できるようにLGWANサービス提供設備の製造事業者と調整済みです。 具体的な保守延長については、保守の契約先と調整をお願いします。
LGWAN接続ルータへの移行に当たり、参加団体の費用負担が発生するものについて教えてほしい。	次の費用負担が発生します。 ・LGWAN接続ルータに移行する際のLGWAN接続ルータの機器のレンタル費用（保守費、設置調整費含む）。なお、LGWAN接続ルータを個別に調達する場合は、機器費・設置調整費・保守費 ・LGWAN接続ルータに移行する際の庁内の各サーバ（DNS、SMTP、NTP）、参加団体内ネットワークのファイアウォールの設定変更費用（サーバ等の参照先の変更による） ・LGWANサービス提供設備の撤去時の廃棄費用等

LGWAN 接続ルータの調達方法についてはどのようなになるのか	ネットワーク基盤サービス事業者からのレンタルを原則とします。 参加団体個別の調達も可能です。なお、LGWAN 接続ルータが LGWAN の安定的な稼働及びセキュリティ水準の統一的管理・維持のために必要な設備であること、ネットワーク基盤サービスの提供事業者による LGWAN 接続ルータの運用管理と保守の一元化、参加団体の運用負担及び調達事務の負担の軽減並びに一括調達による価格低減のスケールメリットの点からレンタルによる調達を推奨します。
LGWAN 接続ルータの機種や費用を提示してほしい	参加団体の LGWAN 接続ルータは、ネットワーク基盤サービス事業者から指定されており、LGWAN ポータルサイト (http://center.lgwan.jp) において掲載しております。なお、LGWAN アクセス回線の帯域、今後の利用見込み等に応じて選択いただけるよう、複数の機種が提示されています。 詳細については、7 月 11 日付で参加団体に通知した「第三次 LGWAN 整備事業におけるルータの切替えに係る情報提供及び照会の実施について」を参照してください。
LGWAN 接続ルータをネットワーク基盤サービス事業者からレンタルした場合、機器の設置等の調整の条件はどんな内容か。	設置調整作業（LGWAN 接続ルータの設置、ケーブル接続及び疎通確認）が含まれます。
LGWAN 接続ルータを購入した場合の、LGWAN 接続ルータの設定や設置作業は誰が行うのか。LGWAN 接続ルータへの設定情報等を教えてもらえるのか。	LGWAN 接続ルータを購入する業者にて、設計・据付調整を行う必要があります。第三次 LGWAN に接続する際に必要となる IPsec、IPaddress 等の設定パラメータについては、ネットワーク基盤サービス事業者から提供されます。
LGWAN 接続ルータへの切り替えはいつから行うことができるか	各都道府県に都道府県ノードが設置された後、切り替えが可能です。 都道府県ノードの設置時期は各県によって異なりますが、平成 23 年 11 月中旬から平成 24 年 2 月末までの間に実施する予定です。
LGWAN 接続ルータの機器はネットワーク基盤サービス事業者が指定したものしか使用できないのか。	原則として、ネットワーク基盤サービス事業者の指定した機種以外使用できません。ネットワーク基盤サービスの提供事業者からのレンタルを基本とすることで、一括調達による価格低減のスケールメリットが期待されます。
LGWAN 接続ルータの監視はネットワーク基盤サービスの提供事業者側が実施することとなっているが、障害発生時の対応等の保守体制はどのように考えるべきか。	LGWAN 接続ルータをネットワーク基盤サービス事業者からレンタルする場合は、LGWAN 側で障害の検知・保守対応までを行います。 一方、固有の事情等により、ネットワーク基盤サービスの指定した機種を個別に調達・保守契約する場合は、現行と同様に LGWAN 運営主体からの依頼に基づき、保守事業者への保守依頼や切り分け等ネットワーク基盤サービス事業者との連絡調整等、個別調達責任者としての役割を担うことになります。

(LGWAN ポータルサイト (<http://center.lgwan.jp>) において掲載している「第三次 LGWAN の移行に係る質疑応答集」

表－２ 移行作業のフェーズと実施

移行 フェーズ	移行内容	実施時期（予定）
フェーズ１	各都道府県にPOIアクセス回線及び都道府県ノードを事前設置	平成23年10月～11月
フェーズ２	先行で移行する都道府県、並びに先行都道府県内の一部の参加団体及び一部のLGWAN-ASPサービス提供者の移行	平成23年10月～11月
フェーズ３	都道府県ごとに順次都道府県NOCから都道府県ノードへネットワークを移行	平成23年11月～ 平成24年２月
フェーズ４	フェーズ３でネットワーク移行した都道府県の管内の、参加団体LGWANサービス提供設備及びLGWAN-ASPサービス提供者のASP接続設備の設定変更	平成23年11月～ 平成24年２月
フェーズ５	現行LGWANの機器の切り離し	平成24年２月～３月

ることになります。

情報は、「第三次LGWANへの移行に関する情報」として、総合行政ネットワークポータルサイト (http://center.lgwan.jp/3rd_plan/index.html) において掲載しており、随時更新される予定です。

４ その他のお知らせ

前項で抜粋したFAQなど第三次LGWANに係る

LGWAN-ASPサービス接続／登録状況（平成23年８月４日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の接続／登録状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ 登録 278件 ■ホスティング 接続 172件
 ■通信 登録 163件 ■ファシリティ 登録 216件

接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.or.jp/cms/15,041.html>